

居合道四段・五段審査会要項

1. 期 日 令和6年9月28日(土) 四段12時30分受付 五段13時30分受付

2. 場 所 東京武道館 大武道場(足立区綾瀬3-20-1)

※東京メトロ千代田線綾瀬駅下車 徒歩5分

3. 審査方法 全日本剣道連盟居合道称号・段級位審査規則・細則ならびに実施要領による。
審査会実施にあたっての感染拡大予防ガイドラインによる。

4. 審査科目 (1)第1次審査 実技

全剣連居合4本、古流1本
全剣連居合は審査当日指定する。

※ 演武時間は6分以内とし、正面の礼より計測し、正面の礼を終了し、携刀姿勢になるまでとする。

※ 下緒装着のこと。

※ 正座が出来ない受審者にも、同じ技を立技で行います。申込時に必ず正座不可欄に○を記入して下さい。

※ 面マスク等の着用は個人の判断に委ねます。

(2)第2次審査 学科

第1次審査合格者から次の要領で学科
試験問題の解答を提出させ審査する。

ア. 学科試験解答

- 四 段 ①日本刀(真剣)を扱う時に注意すべき点について述べなさい。
②「正しい刀法・刃筋の重要性」について述べなさい。
③「居合道試合・審判要領」での「合議」について説明しなさい。

- 五 段 ①怪我や事故を防ぐために注意すべき点について述べなさい。
②「気剣体の一致」について説明しなさい。
③「居合道試合・審判規則及び細則」での「審判員」と「審判員の任務」について説明しなさい。

イ. 用紙および枚数

(ア) 東京都剣道連盟が配布したA4版学科試験答案用紙を使用すること。

(イ) すべての設問(①, ②, ③)の解答を合わせて3枚以上5枚以内にまとめて記述すること。

ウ. 記述様式

フリガナ

直筆、日本語または英語の横書きとし、受験段位・受験番号・氏名・生年月日を明記する。なお、氏名については証書申請の字と致しますので、楷書で正しく書き、前段取得時と氏名が変わっている方は旧姓も書くこと。また、コピーおよびワープロ等による解答の提出は禁止致します。

(例) NO. 1

審査員氏名	採	合	否	
	決			

学 科 試 験 答 案 用 紙

受験段位(4段) 受験番号(1) 所属団体名(港)

フリガナ ミナト カズ オ

氏名(港 一 夫・旧姓) 生年月日(平16.4.5)

1,日本刀(真剣)を扱う時に注意すべき点について述べなさい。
.....、.....。

エ. 解答上の注意事項

(ア) 参考書の丸写しでなく、自分の意見も述べること。

(イ) 設問と異なる解答をした場合には、不合格とするので、十分注意すること。

オ. 解答の提出

解答は予め作成のうえ、審査開始前に受付へ提出する。

5. 受審資格 (1)東京都剣道連盟の会員であること。
(2)四段受審者は、令和3年9月末日以前に三段を受有した者。
(3)五段受審者は、令和2年9月末日以前に四段を受有した者。
(4)学科再受審者。
6. 個人情報保護法への対応 申込書に記載される個人情報（所属団体名、漢字氏名、カナ氏名、生年月日、年齢、称号・段位、職業等）は全日本剣道連盟および東京都剣道連盟が実施する本審査会運営のために利用する。なお、所属団体名、氏名、年齢等の最小限の個人情報は必要の都度、目的に合わせ公表媒体（HP、掲示用紙、東京剣連だより等）に公表することがある。
7. 服装 居合道着（つつ袖）または剣道着、袴（上下同色で紺もしくは黒または白）着用のこと。個人名の名札は取り外して来ること。
8. その他 (1)学科審査不合格者は、令和7年9月までの間に1回限り再受審が認められます。なお、それ以降の再受審は無効となりますので、ご留意下さい。
(2)主催者は、審査中の事故に対し（審査会場への往復途上を含む）、傷害保険に加入する。なお、審査実施中、傷害発生の場合は、救護係により応急処置を講じ、病院等で治療を受けられるよう手配する。この場合の治療費は本人が負担する。
(3)駐車場がありませんので参加者に車を使用されないようお伝え下さい。

※本連盟では個人からの直接の申込みは受付けておりません。

申込方法、申込期日、参加料等については、所属団体へお問い合わせ下さい。